

KAGAWA



Diversity & Inclusion

Contents

- ◎香川大学D&Iフェスタ2025開催
- ◎D&Iを学ぶ
- ◎女性研究者支援
- ◎ダイバーシティ理系選択応援プロジェクト
- ◎ワーク・ライフ・バランス支援
- ◎INFORMATION

ごあいさつ

ダイバーシティ推進室室長 平野 美紀

(副学長・法学部教授)

平素より本学のダイバーシティ推進にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今年度10月よりダイバーシティ推進室長を拝命いたしましたので、ひとことご挨拶申し上げます。

現代社会においては、多様性を尊重し、受容的である社会が求められています。受容的な社会とは、人はそれぞれ異なる人格と個性を有する存在であることを、互いが尊重し、想像力をもって認め合う社会といえるでしょう。少子化に伴う人口減少が課題となっている現代社会では、互いを排除することなく支え合い、誰にとっても生きやすい社会が必要とされているのだと思います。

本学は、多様な背景や個性を尊重し合える学びの場づくりを目指して2021年10月に「ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)推進宣言」を行いました。基本方針やガイドラインを策定し、2025年度からは学生の通称名の使用に加え、自認する性別の使用を認める制度を導入しており、2026年度には、さらにそれを教職員にも拡大します。

ただ、これらの取り組みは、多様性を受け入れる風土を醸成するための、目に見える制度改革の第一歩にすぎません。実際には、すべての人が自己を最大限に発揮し、互いの個性を尊重できる

環境をつくるのはたやすいことではなく、残念ながら、現実には、D&I、あるいはダイバーシティ&インクルージョンという言葉さえも、大学内で浸透しているとはいえないようにも思えます。

大事なことは、制度改革だけではなく、私たちひとりひとりが小さな「もよもよ」を表現し、想像力と思いやりをもって対話を重ね、その解決を目指して行動すること、そして、少しずつでも多様性を受け入れようと努力することではないでしょうか。そのような積み重ねが、やがては大きな力となって、社会の中の、あるいは香川大学における、多様性を受け入れる風土を醸成していくと思います。

微力ではありますが、そのような風土づくりのために、D&I推進室長として力を尽くしてまいります。引き続きご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



REPORT

香川大学 D&I フェスタ 2025

本学が「D&I推進宣言」を行った10月を中心に、センター・関連部局と連携し、D&Iをさらに推進するため、全構成員（学生・教職員）を対象とした「香川大学D&Iフェスタ2025」を実施しました。



D&I セミナー Part1

子ども・若者の居場所づくりと支援 —社会的擁護の視点から



合木啓雄氏

10月15日(水)、422講義室(幸町キャンパス北4号館2階)にて、子どもや若者を支える社会的擁護をテーマとした講演会を対面形式で実施しました。

合木啓雄氏(NPO法人丸亀街づくり研究所理事長)から、子どもや若者を支える居場所づくりと支援について、ワークショップを交えながら、社会的擁護の視

点からお話いただきました。アドボカシーに関連した場面・立場を設定して、実際の当事者の立場でグループワークを実施し、その時の考えを話し合うことで理解を深めました。セミナーを通して、“見えないところに思いを馳せること”や”いのちの寄り添い”の大切さを感じるセミナーとなりました。

アンケートより

- ◎共感と同調は違うという話があり、これから先その違いをしっかりと意識しながら子ども(人)と関わっていきたくと思った。
- ◎子どものことを知ろうとする態度を見せることで子どもたちに気持ちが伝わるという言葉がとても心に残りました。学校の先生になったときに、子どもにあなたのことが知りたいという気持ちが伝わるように関わりたいと思いました。

D&I セミナー Part2

講演①災害時外国人支援の取り組みについて 講演②四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構の取り組みについて



譚俊偉氏

12月17日(水)、E11講義室(幸町南キャンパスDRI棟1階)にて、ゲストスピーカーの譚俊偉(たん しゅんわい)氏(総社市人権・まちづくり課国際交流推進係主事)をお招きし、岡山県総社市の事例を中心に自治体の災害時の外国人支援や外国人防災リーダー育成の取り組みについてご説明いただきました。言語と文化の多様性を踏まえた、災害時の支援体制の重要性が示されました。

次に、本学の防災・危機管理分野の教育・研究や、地域との連携を通じた防災意識向上にかかる取り組みについて、金田義行氏(地域強靱化研究センター長)からご紹介がありました。セミナー最後には、本学職員(シンガーソングライター)のMilly Rise氏による防災ソング「そなえたらこわくない」の英語バージョンが披露されました。

D&I カフェトーク

11月12日(水)、ラーニングcommons(図書館中央館2階)にて、野口里美氏(理事・副学長[企画・評価・ダイバーシティ・広報担当])が話題提供者となり、「未来を描く:私たちが働きたい職場とは」をテーマにカフェトークを実施しました。本学職員が集まり、理想の職場、現在の職場における困りごとなどをグループで話し合い、最終的に職場環境改善のための意見を提出しました。

アンケートより

- ◎普段、交流のない他部署の方々の意見を聞くことができてよかった。
- ◎意見を言う機会が少ない若手職員の意見を吸い上げる仕組みとして有効だと思いました。



カフェトークの様子

D&I キャンパスプロジェクト Aster

「現代のLGBTQについて考える」「現代のルッキズムについて考える」

10月28日(火)および29日(水)、311講義室(幸町キャンパス北3号館1階)にて、D&IキャンパスプロジェクトAster主催イベントを開催しました。28日は「現代のLGBTQについて考える」をテーマとして、カミングアウトやアウトイングを題材とした映画を鑑賞し、その後、参加者同士で意見を共有しました。29日は「現代のルッキズムについて考える」というテーマのもと、美容整形や脱毛に関する広告が固定的な美の価値観を押し付けている現状や、ミスコンテストにおける多様性の課題を扱った映像を視聴し、グループに分かれて意見交換を行いました。学生の立場、教職員の立場それぞれから意見が出され、多様な視点に基づく活発な議論が展開されました。

アンケートより

- ◎自分の学部、学年、年齢などが異なる様々な人と意見交換ができ、とてもいい機会になった。
- ◎何事もまずは知ることが大切だと思いました。いろいろなみなさんと意見交換できたことがとても有意義でした。普通とは何か、いつも思うところです。



ワークショップの様子

D&Iフェスタ 関連イベント バリアフリー支援室

車椅子講習会

フェスタ期間中には車椅子講習会が開催され、教職員3名と学生2名が参加しました。実際に体験した参加者からは、操作の難しさやコミュニケーションの重要性、さらには心理的な影響にまで気づいたという声が寄せられました。

車椅子講習会



D&Iフェスタ 関連イベント インターナショナルオフィス

グローバル・カフェイベント

12月11日(木)にフィンランドのムンッキニエミ中等教育学校高等部の生徒と教員が本学を訪れ、グローバル・カフェでジオをテーマとして交流しました。

フィンランドイベント



REPORT

D&Iを学ぶ

2025年度は、学生向けの全学共通科目として「D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)入門」、「多様なライフ・キャリアを考えるー男女共同参画の視点から」の2講座をダイバーシティ推進室が担当しました。また、D&Iについて学ぶ機会を全構成員へ広く提供するため、昨年度に引き続き「D&Iマスター制度」を実施しました。さらに、授業において性の多様性が尊重されるように、「教職員向け授業対応ガイドー性の多様性を尊重するためにー」を各講義室に配布しました。



D&I 入門 (第1クォーター 火曜1時限目)

この授業では、学内外の教員によるオムニバス形式によって、ジェンダー、障害、多文化、性の多様性、大学、企業などの幅広い視点からD&Iについて学びます。

回	講義日	授業タイトルと内容	担当講師	所属
1	4/15(火)	オリエンテーション	高木由美子先生 黒澤あずさ先生	ダイバーシティ推進室室長(当時)・教育学部教授 ダイバーシティ推進室特命准教授・コーディネーター(当時)
2	4/22(火)	障害を考える	大沼泰枝先生	学生支援センター バリアフリー支援室准教授
3	5/1(木)	ダイバーシティマネジメントを考える	吉澤康代先生	大学院地域マネジメント研究科教授
4	5/9(金)	ユニバーサルデザインを考える	中島美登子先生	創造工学部准教授
5	5/13(火)	ジェンダーを考える	笠潤平先生	教育学部名誉教授
6	5/20(火)	性の多様性を考える	葛西真記子先生	鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授
7	5/27(火)	見えない生きづらさを考える	長谷綾子先生	医学部臨床心理学科准教授
8	6/3(火)	多文化共生を考える	植村友香子先生	インターナショナルオフィス特命准教授

多様なライフ・キャリアを考えるー男女共同参画の視点から (第1クォーター 木曜5時限目)

「男女共同参画」を基軸とした価値観をキャリア・ライフデザインにどのように位置づけていくかを考えるための講義を提供します。多様な分野で活躍している主に実務家によるオムニバス形式で構成されています。

回	講義日	授業タイトルと内容	担当講師	所属
1	4/10(木)	「誰もが自分らしく暮らせる社会にするために」 「日本の現状と課題ージェンダー統計の視点からー」	永田真一先生 添野希和先生	総務省政策統括官付国際統計管理官 総務省政策統括官付国際統計管理官室主査
2	4/17(木)	「裁判所におけるキャリア」	多知川正人先生 田村元秀先生	高松地方裁判所総務課長 高松家庭裁判所総務課課長補佐
3	4/24(木)	「誰もが生き生きと働くために ー男女共同参画の視点から働き方を考える」	澤渡恭子先生	香川労働局雇用環境・均等室長
4	5/8(木)	「ジェンダーの視点で考える『法』と『社会』」	佐藤倫子先生	香川県弁護士会
5	5/15(木)	「子育て家庭の現状と課題、必要な支援とは」	中橋恵美子先生	NPO法人わははネット理事長
6	5/22(木)	「SRHR(セクシャルリプロダクティブヘルス・ライツ)を知りましょう」	塩田敦子先生	ダイバーシティ推進室副室長・ 医学部医学科教授
7	5/29(木)	「技術者を取り巻く 様々な環境での自分らしい働き方」	岩井綾先生	復建調査設計株式会社四国支社 道路河川技術課係長
8	6/5(木)	「企業におけるダイバーシティについて」	杠明日美先生	アオイ電子株式会社高松本社商品開発部課長

REPORT

D&Iマスター制度

2025年3月25日(火)に、第1回D&Iマスター修了証授与式を行いました。

「D&Iマスター制度」は、D&Iについて学ぶ機会を広く提供するもので、誰もが活躍できるキャンパスを学生や教職員のみなさんと作るきっかけとして2024年度からスタートしました。第1回の修了者は、学生・教職員を含め19名。高木由美子ダイバーシティ推進室室長(当時)から修了証が授与され、ダイバーシティ推進室特製グッズが贈られました。

D&Iマスター取得をめざしてみませんか!詳細はダイバーシティ推進室ホームページをご覧ください。

第1回修了者のみなさん



香川大学ダイバーシティ&インクルージョンに関する全学調査 Vol.4

2022年6月に開始した「香川大学ダイバーシティ&インクルージョンに関する全学調査」も第4回目を迎えました。2025年度の調査では、D&Iに基づいた多様性を尊重した大学運営について、調査への回答に応じた学生の80%、教職員の66%が「尊重している(十分に尊重〜やや尊重)」と肯定的に評価しました。一方で回答率の低さが課題です。本学構成員の皆様に資する調査となるよう、今後も努めてまいります。

国立女性教育会館コーナー

2025年度は、国立女性教育会館(NWEC)の資料を図書館中央館で貸し出しました。NWECの女性教育情報センターでは、男女共同参画やジェンダーに関する所蔵資料を、テーマに合わせて全国の図書館や団体に届けるサービスを行っています。中央館では、2階サービスカウンター前に「国立女性教育会館コーナー」を設け、資料を配架しました。2026年1月~3月のテーマは、「人生100年」「共働き」「ハラスメント」「伝記(音楽)」です。(※テーマは3か月ごとに変わります。)2026年度も継続を予定しています。ぜひご利用ください。



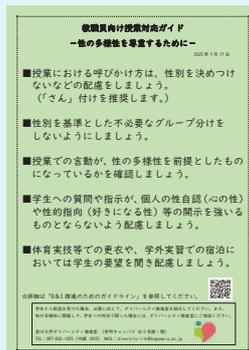
女性研究者支援

女性研究者リーダー支援事業

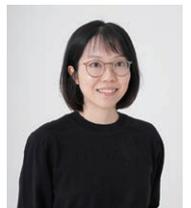
香川大学の女性研究者がリーダーシップを発揮しつつ、研究・教育活動に専念できる環境を整備することを目的として行っている事業です。特に大学の管理運営業務の要職を担う女性研究者に対して、支援スタッフを配置することで、運営業務負担を軽減し、研究活動の継続と発展を支援します。この取り組みにより、女性研究者の負担軽減だけでなく、ダイバーシティの推進や研究環境の多様性向上にも寄与することを目指します。2025年度は計4名を採択しました。

「教職員向け授業対応ガイド
-性の多様性を尊重するために-

授業において性の多様性が尊重されるよう、各講義室に「教職員向け授業対応ガイド-性の多様性を尊重するために-」を配布しました。多様な学生が安心して学べる環境を整えていきます。

●新しいコーディネーターが
就任しました!

2025年11月よりダイバーシティ推進室コーディネーターに就任しました、和田千寛と申します。ダイバーシティ推進には一つの「正解」があるわけではありません。悩みながら、諦めず、できることを一つずつ積み重ねてまいります。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



REPORT

香川大学ダイバーシティ理系選択応援プロジェクト

2025年度に「令和7年度大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金」事業に採択され、さまざまな事業を実施しました。その一部をご紹介します。

01 研究交流発表会 7.2(水) @香川県立坂出高等学校

第1回目のイベントとして、研究交流発表会を開催しました。坂出高等学校の先生方のご協力により、本学教育学部の台湾国立嘉義大学のインターンシッププログラムと連携し交流活動を実施しました。

1時間目は、国立嘉義大学の学生代表から、嘉義大学・台湾の紹介、理系選択をした理由の説明がありました。その後は、グループに分かれて大学生と高校生が英語で意見交換を行いました。2時間目は、化学の授業を大学生と高校生と一緒に学びました。高校生は英語で授業の内容を大学生に説明し、大学生は台湾の学びについて高校生に伝えました。授業後には、大学生はふれあい活動、部活動に参加し、日本の高等学校の様子について知識を深めました。

02 だれでも科学者!ドキドキ実験☆ ダイバーシティ・サイエンス展 8.9(土)-10(日) @徳島文理大学

香川大学が9ブース(教育4・医1・農1・創造工2・ダイバーシティ1)、徳島文理大学が3ブース(薬2・理工1)、協賛企業が3ブース、学校法人藤井学園藤井中学校が1ブース、香川大学の協定校であるブルネイ・ダルサラーム大学が1ブースの合計17ブースがサイエンス展で開かれました。大盛況で順番を待ってもらうブースが続出しました。

アンケートには「丁寧に説明してくれてわかりやすかった」「小学生兄の夏休みの自由研究で困っていたのでとても助かりました」など好意的な意見がたくさん寄せられました。



03 出前授業 11.13(木) @高松第一高等学校

農学部古本先生の「色が変化する植物由来成分」と題した出前講座を高松第一高等学校で開講しました。参加者は、特別理科コース1年生の生徒と教員1名でした。

初めに参加者は紫キャベツ由来色素水溶液の色がクエン酸や重曹によって変化することを体験しました。その後、色が変化する要因がpHであること、色素の正体がアントシアニンであること、なぜpHによって色が変化したのかについて、化学の視点から解説されました。

アンケートには、「化学について仕組みを解明することに興味が湧いた。」などの声が寄せられました。



04 ラボ訪問 12.20(土) @香川大学

前半は教育学部松本先生からクマノミ類の「性転換」は繁殖成功を高めること、またクマノミの集団内で順位が隣り合う個体間の体長比が成長調節によって約1.3に収束することが紹介されました。後半では、松本先生の飼育実験室を見学し、飼育されている様々な魚を見ながら研究・実験のお話を伺いました。

アンケートには、「クマノミの性転換についてもともと知っていた知識にプラスアルファされたことを聞いたのでとても良かったです。特に水槽見学が見ていて見応えがありました。」といった意見が寄せられました。



REPORT

ワーク・ライフ・バランス支援

REPORT
01

妊娠・育児・介護中の研究者に対する研究補助者の配置による研究支援事業

研究補助者配置制度は、研究者が育児・介護等を理由に研究を断念することなく、研究と育児・介護等とを両立させつつ、優れた研究を推進することができる環境をつくる目的で行っている事業です。2025年度は計13名を採択しました。

REPORT
02入学試験における
休日出勤時の託児

入学試験における休日出勤時の教職員の負担軽減にむけて、3か月から小学校6年生までの子どもの託児を無料で実施しています。2025年度は、11月22日(土)の推薦入試と1月17・18日(土・日)の大学入学共通テストの託児を設定し、延べ6人のお子さんの受け入れをしました。

REPORT
03ベビーシッターの
利用費補助制度

こども家庭庁(公益社団法人全国保育サービス協会に委託)が実施する「ベビーシッター派遣事業」により、「ベビーシッター派遣事業割引券」を利用できる制度の他、ベビーシッター等で利用できる育児補助金制度「ベネフィット・ステーション」があります。

REPORT
04

介護セミナー

2月4日(水)「介護セミナー」を415講義室(幸町キャンパス北4号館1階)にて、本学教育学部との共催で実施しました。高松市より、認知症サポーター養成講座キャラバン・メイト新開正義氏、元木章代氏、森永智光氏をお招きし、ご講演いただきました。ロールプレイや、DVDにて認知症の方とご家族の思いを知ることを通して、認知症への理解を深めました。認知症の主な症状・それに至るまでの予防策、高松市の取り組み、受診・相談窓口などをご説明いただきました。

アンケートより

- ◎認知症になったら1人でさせられないことばかりあるというイメージだったが、認知症になってもできることはたくさんあり、変わらず1人の人なのと思った。
- ◎忘れてしまうという抽象的な考えだけを持っていたが、「認知症の人は覚えている1分1秒をつなげて懸命に生きている」という言葉がとても印象に残っており、まだまだ理解が足りていないことを自覚しました。



森永氏・元木氏(左から)

REPORT
05香川大学
出産・育児・介護支援ガイド

香川大学の出産・育児・介護支援制度について、わかりやすくまとめたリーフレットを作成しています。ぜひご活用ください。

REPORT
06

定時にかえろう!

香川大学では、男女共同参画の基本方針に基づき、教職員の教育・研究等と育児・介護の両立を支援するため、下記の事項に配慮しています。

1. 育児等に取り組む教職員が参加する会議は**夕方17:30以降**、できるだけ開催しないこと。
2. 育児等に取り組む教職員より申し出があった場合には、教育・研究活動以外の業務負担の軽減に努めること。
3. 育児等に取り組む教職員がやむを得ない事情により会議の欠席・早退・遅刻、業務の代替等を求める場合にはできる限りの配慮を行うこと。(授業・会議の時間帯調整、代理出席の配慮、出席を強制しないなど)

※ 通称名や自認する性別の使用

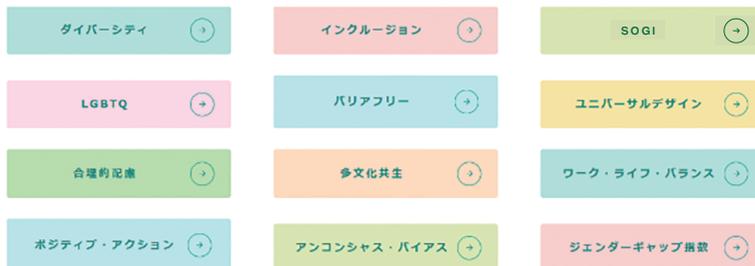
2025年4月より、通称名に加え戸籍とは異なる自認する性別の使用を希望する場合は、所定の手続きによって変更ができるようになりました。また、証明書等の性別の記載についても、申し出により性別を記載せずに発行できる場合もあります。各種文書において、原則として不要な性別欄を削除するよう周知を図っています。



※ D&I関連用語解説

D&Iに関する用語解説のページを当室のHPに設けています。

D&Iについてさらに学びたい方には、D&Iマスター制度、D&I関連科目の履修を推奨します。



※ D&Iスペース

幸町キャンパス北5号館1階、ダイバーシティ推進室とバリアフリー支援室の間に開設しています。D&Iについてちょっと話をしたい、イベントを開きたいといったことに使えるスペースです。D&Iに関する資料や書籍を自由にご覧いただけます。ご利用の際は、事前に当室までお問い合わせください。



※ 生理用品の配布

様々な理由で生理用品の入手がしづらい状況にある香川大学の女子学生を支援したいと個人の方や高松市からご寄付をいただきました。幸町キャンパス学生会館1階・北4号館の女子トイレ・ALL GENDERTイレ内に生理用品を置いてありますので、必要な方はご自由にお使いください。



D&I 相談窓口

D&I 相談窓口は、香川大学に通う学生のみならず、働く教職員のみなさんが利用できる窓口です。ここでは、本学の D&I に関わる制度や仕組みについてのご相談をお受けします。どこに相談したらよいかわからない場合のご相談もお受けし、“コンシェルジュ”的な役割も担います。この窓口の他に、様々な相談窓口が学内外にありますので、そちらも併せてご利用ください。



編集・発行

香川大学 ダイバーシティ推進室

〒760-8521 香川県高松市幸町 1-1
幸町キャンパス北5号館1階
電話：087-832-1055（内線：1055）
FAX：087-832-1057
MAIL：diversity-i-h@kagawa-u.ac.jp
URL：https://www.kagawa-u.ac.jp/diversity/
本ニュースレターおよび本学の D&I 推進についてのご意見・ご感想を当室までお寄せください。

D&I 推進のためのご寄付のお願い

香川大学では、本学の教育研究の奨励を目的として、企業や個人等（寄附者）の方から寄附金を募りご支援をいただく制度を設けています。現物による寄附も歓迎いたします。

詳しい手続きはこちらをご覧ください。https://www.kagawa-u.ac.jp/research/industrial/contribution/